



「する・みる・支える・知る」スポーツ教育
「シッティングバレー教室」を開催します



ターゲット 4.1

令和4年7月1日
郡山市文化スポーツ部
スポーツ振興課
課長 郡司 兼介
TEL：924-3441

SDGs ターゲット 4.1 「質の高い初等教育及び中等教育を修了できるようにする」

東京 2020 オリンピック・パラリンピックレガシー継承事業「する・みる・支える・知る」スポーツ教育を三穂田中学校で行います。

今回は、(公財)福島県障がい者スポーツ協会・特任コーディネーターの村上光輝氏を講師にお招きして、パラリンピック競技種目の「シッティングバレー」を体験する授業を行います。

- 1 日時 7月7日(木) 13時30分～14時20分
- 2 会場 三穂田中学校 体育館
- 3 参加者 中学2・3年生 43名
- 4 講師 村上 光輝 (むらかみ みつき) 氏

【シッティングバレーボール】

座った姿勢で行うバレーボール。健常者も足に障がいを持った人もともに楽しむことができ、夏季パラリンピック競技に採用されている。サーブ・ブロック・スパイクなどの際に臀部(でんぶ)を床から浮かしてはならないが、レシーブの際に短時間なら離床がOKとされている。

【講師略歴】

(公財)福島県障がい者スポーツ協会・特任コーディネーター
2021年 東京2020パラリンピック ボッチャ競技日本代表監督



<「する・みる・支える・知る」スポーツ教育>

東京2020オリンピック・パラリンピックレガシー継承事業として、小・中学生のスポーツとの多様な関わり方(する・みる・支える・知る活動)を支援し、生涯にわたって心身の健康を維持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目的としています。

市内の希望する小・中学校(15校程度)を対象に講師派遣を予定しており、今回はその第1回目となります。